

特別展 北陸新幹線福井延伸 1 周年記念

福井県民の幸福度日本一は蓮如上人から

幸福度日本一の福井県ですが、「しあわせ」は本来、「仕（つか）え」「合わす」、「仕合せ」と書きます。当蓮如上人記念館を運営する本願寺文化興隆財団理事長で大谷暢順本願寺御法主台下は、他者や周りのために「仕え合う」「し合う」事、何かをしてあげる事によって得られる心の充足感、それこそが「しあわせ」なのだとします。

私たちは、人間としてこの世に生を享けました。しかし、生まれてきた事を当然の事として、恵みを恵みとして受けとめていない私があります。

師である法然上人と出会えた事、そして阿弥陀如来のご本願に出会えた事を「仕合せ」と喜ばれた親鸞聖人のみ教えを受け継がれた蓮如上人は、越前の人々に「仕合せ」になる事を説かれました。蓮如上人が育まれたこの精神が 500 年間の長きにわたり、福井県民の間で相続され続け、その結果が 12 年間、6 回連続の幸福度日本一になりました。福井県民がよく使う「おかげさま」では、そのあとに「ありがとう」が続きます。「おかげさまでありがとう」は、「しあわせ」に繋がります。

この福井の仕合せを多くの人に伝える為、当記念館では特別展「福井県民の幸福度日本一は蓮如上人から」を 3 月 19 日から開催します。

展示では県内の家庭や寺院、団体等で 500 年間大切に守られてきた蓮如上人関連の作品を公募して公開し、県内各地に残る蓮如上人の伝承、地域の文化を紹介して、幸福度日本一を築いた上人の精神に焦点をあてます。また、出展地の交通アクセスも掲示して、現地へ足を運ぶ周遊観光にも寄与します。

この特別展が幸福度日本一を育んだ郷土の偉人・蓮如上人を県民自身が再評価し、福井の仕合せと県民の歴史や文化、信仰を国内外に伝える大きな機縁となる事を願ってやみません。

蓮如上人記念館
館長 大谷祥子